|  |
| --- |
| **会　議　録** |
| **会議名** | **令和２年度　小国郷医療福祉あんしんネットワーク全体会(3月)** |
| **開催日時** | 令和3年3月24日(水) | 1９:０0～20：25 | **開催場所** | 小国町社会福祉協議会その他各自オンライン参加 |
| **記録者** | 阿蘇郡市医師会　牧本 |
| **議題** | 1. | 2月27日のフォーラムの意見交換（15分） |
| 2. | チーム毎に分かれコロナ禍における持続できるための事業計画会議（30分） |
| 3. | 発表（5分×8チーム）40分・認知症カフェチーム・情報共有チーム・美鳥チーム・出前講座チーム・予防チーム・広報・デジタル化推進チーム・在宅医療サポートセンター・総務チーム |
| 4.　　 | その他 |
| **出 席 者** | あんしんネットワークチーム員 |

| Ｎo | 議　　題 | 内　　　　　容 |
| --- | --- | --- |
| 11 | 2月27日のフォーラムの意見交換（15分）2月27日のフォーラムの意見交換（15分） | ●片岡先生より・2月27日（土）オンラインフォーラム「コロナ禍を小国郷で乗り越える。あなたも私も取り残さない、未来のまちづくり」住民フォーラムを開催することができた。第一部 甲佐町の藤井事務部長のお話、第二部 バーチャル井戸端もいろいろな意見が出て非常に好評だった。・小国町の100人会議と南小国町のSMOにもご協力いただき、あんしんネットワークからと合わせて12名の実行委員を選出して本番まで2ヶ月でこぎつけた。・あんしんネットワークのホームページやYouTubeチャンネルに掲載しており、本日まで両町のケーブルＴＶでも放送していた。・藤井さんへの質問で時間がなかった分も文書でこたえていただいているところ。年度明けになると思うが、ホームページに掲載したい。・バーチャル井戸端では、医療の立場、介護の立場、子育ての立場、高校生の立場等様々な意見が出た。・「コロナ禍を小国郷で乗り越えるために必要なこと」として、参加者の方に紙に書いていただくミニワークをした。・アンケートの結果もＨＰに掲載している。オンライン会議という事でいろいろな意見が出た。良かった悪かった等、次回の開催へとつなげていきたい・リアルタイムでの参加150名、YouTubeの視聴約400名、ケーブルＴＶを見ていただき、延べ500～700名くらいは見ていただいたと思っている。・若い方から年配の方まで幅広く周知できたと感じる詳細はホームページに掲載しているので、一度お目通しいただきたい。●今回のフォーラムについて、気付いたことやご意見など・ 当日休みだったスタッフもオンラインだったので視聴できて良かったとのことだった* 90代のご夫婦より、おぐにチャンネルをみて片岡先生が映っていてうれしかったとの感想をいただいた
* おぐチャンで見たという数名のお客さんから声を掛けられた。身近に感じてもらえたようでよかった。ケーブルテレビで流すのは大成功だったと思う
* いろんな人が出ていて、いろんな人の意見があって良かったとのご意見をいただいた
* 木魂館で視聴されたお客さんから、ああいう場所があるので、自分では出来ないけど、行って見れたのが良かったと感想をいただいた
* 患者さんから、ZOOMでやったことはないけど、テレビでみてやったような気分になれたとお声掛けいただいた
* オンライン会議について、どんなふうにやっているのか分からないという人が、テレビでみてこんな感じでやっているんだという気づきに繋がったように感じた
 |
| 2 | チーム毎に分かれコロナ禍における持続できるための事業計画会議（30分） | ●ブレイクアウトルームを利用し、各チームに分かれてミーティング |
| 3 | 発表（5分×8チーム）40分 | ●各チームより発表○認知症カフェチーム・3/18会議を実施。コロナ禍でカフェを開けなかったが、4月から月1回第4木曜日に再開する。・第1回目は4/22(木)を予定。時間は以前より短縮し、14時から15時までの1時間で行う。・シフト表は作成中。できたら配布する。・内容は、コロナワクチン等の講話を水橋先生にお願いした。また、この講話をおぐチャンとみなみチャンで配信を計画中。・お茶は今までのように出せないので、ペットボトルのお茶と個包装のお菓子を配り、200円いただく予定。・4月よりリーダー変更。リーダー：りんどう荘の高村さん。サブ：引き続き、春草苑の秋吉さん。○情報共有チーム　OGCISの同意書がほとんどの事業所から戻ってきている。各事業所の管理者にMCSの招待メールを送っているので同意をお願いしたい。今後MCS内で情報共有と今後の予定を伝えていきたい。・タブレットは4月中には配布できるよう準備したい。・秋にはOGCISを使ってよかった事例の発表会をしたい。○美鳥チーム　　エンディングノートの普及の為に、分かりやすい記入の仕方をＤＶＤにして配布予定。現在シナリオ作成中。来年度中には、DVDと手引書を作成し、配布できるようにしたい。　コロナの状況を見ながら対面での会議も行いたい。○出前講座チーム・スケジュールを2か月毎に配信。4・5月分は3月15日にメール済。・依頼の項目について、同メールのニーズ調査票のタブから選んでいただくか、それ以外の要望も可。要望等の受付窓口は両町社協・包括・リスタ・甲斐田歯科。・コロナの状況にもよるが、月2回は開催したい。・認知症カフェチーム、予防チームとも協力して行いたい。・将来的にはリモートも活用していきたい。その場合、コーディネートしてくれるスタッフが必要。○広報・デジタル化推進チーム・フェイスブックに世話人会・全体会の次第等の報告をしてきたがチーム毎の報告ができていなかった。また、議事録をあんしんネットワークのホームページに掲載することが出来なかったので今後検討。・令和3年度はネット活用の方法についての勉強会を年1～2回行う。・片岡先生がインスタグラム、ツイッターであんしんネットワークのアカウントを作って下さったので、その活用方法を検討する。・YouTubeチャンネルを開設しているので、例えば認知症カフェチームや出前講座チームの講話で、皆で共有したほうがいいなというのがあれば、言って頂ければYouTubeチャンネルにあげることができる。皆さんからの投稿をお待ちしている。○在宅医療サポートセンター・1カ月に1回、または2カ月に1回、金曜日に会議を行っている。内容は、24時間看取りシステムをどのように維持していくか、症例報告を主に事業を進めてきた。このシステムを維持する。・来年度は、どのようにしたら質を伴ったまま在宅医療の量が増えていくかという事を考えていく。・今週の金曜日(3/26)に在宅医療研究会を開催予定。「今後持続可能な在宅医療サポートセンターのあり方」のワークショップを予定。・予算が県から在宅医療サポートセンターに3年間出ていたが、今年で終わる。来年度以降も額は下がるかもしれないが、認定される予定になっている。・今年の支出内訳は、前回のオンラインフォーラム、印刷代（小国郷で生きていくノート、パンフレットの増刷）に使用。来年度、事業を組んで予算を立てていきたい。○総務チーム・来年度の事業予算について、今日の話を踏まえて12月に出して頂いた要求分に訂正があれば総務に申し出て頂きたい。・概略だが、令和3年度は前年からの繰り越しと両町からの助成金を含め年間で100万円程活用が可能。・現在算定している内訳ひとよこいチーム：年間運営費で15万円ほど美鳥チーム：エンディングノートと手引書の印刷等25万円：エンディングノートのDVD作成10万円情報共有チーム：ファイル印刷等経費・USB等3万円通信関係：zoomのアカウントやサーバーの使用料等5万円住民フォーラム：会場費・講師謝礼15万円程度・住民フォーラムについては今回オンラインで開催したが、次年度どういう形で行うか、時期、内容、回数を詰めていく必要があると思う。世話人会で相談しながら決めていければと思う。○予防チーム・来年度は両町の介護予防事業のパンフレットをもう少し見やすく作り直していく予定。情報が多かったので、少し絞って分かりやすく提示できたらと思っている。・町の健康課題がデータとしてあがってきているので、予防チームで共有できれば、それに対応した講話等に繋げていきたいと思っている。・アンケートを実施させて頂いているので、このアンケート結果をもとに各事業所の相談窓口を載せたマップを作れたらと企画している。予算の関係もあるが、マップの作成等をデザイン関係の方に依頼できればと思っている。また相談していく。 |
| 4 | その他 | （事務局）・記録係について春草苑の秋吉さんと飯干さんが追加で協力頂けると連絡頂いている。世話人会・全体会の1年分の記録係の当番表を送っているので、ご確認をお願いしたい。交代する時は各自でお願いしたい。・令和3年度のチームメンバー表について令和2年度の分はメールで送っているので、追加で加入される方や違うチームにチェンジする方がいらっしゃったら連絡ください。（公立病院）3月31日で坂本院長が定年退職される。4月から病院長 堀江先生、病院事業管理者 片岡先生 で運営してく。（医師会事務局）阿蘇在宅医療システム研究会の理事会が3/29（月）に開催される。小国郷医療福祉あんしんネットワークの活動発表を佐藤局長より、小国郷在宅医療サポートセンターの活動発表を片岡先生よりお願いしたい。 |